



代表取締役常務 松岡 邦和 氏



～未来を変えるモノづくり～

会社概要と製品・事業紹介

- **独立系自動車用プレス製品メーカー**
 - ・世界最強クラスの品質を誇る高張力鋼板（ハイテン材）を用いた自動車用プレス製品を製造（売上高の68.1%）
 - ・国内初の冷凍装置とコンテナ貫生産を実現、冷凍車事業を展開（売上高の27.2%）
 - ・空調システム事業や静電容量技術を用いた「世界一叩きやすいキーボード」など電子機器事業も展開
- **業績（2018年3月期）**
 - ・売上高1,911億円、営業利益237億円
- **沿革**
 - ・1935年：東京プレス工業として設立
 - ・1985年：現社名に変更

コア技術・新製品

- **自動車部品技術**
 - ①ハイテン材（高張力鋼板）塑性加工技術
 - ・当社の歴史はハイテン製品発展の歴史
 - ・1970年代にバンパーに適用してから用途拡大
 - ②ホットスタンプ成形技術
 - ・プレス成形と同時に金型内で焼入れ熱処理を行うハイブリッド工法
 - ・自動車ボディ製品として世界最高強度
- **冷凍車・冷蔵車技術：**
 - ①日本初「EV配送車」
 - ・当社製電気式冷蔵機を搭載
 - ②新型航空保冷コンテナ
 - ・国土交通省の委託でヤマト運輸と共同研究中
 - ③環境負荷低減冷却バッテリーシステム

事業戦略と状況

- **1990年代から事業拡大**
 - ・大口顧客日産自動車の調達方針変更を契機に九州及び海外（アメリカ・中国・メキシコ・タイ・インドなど）に進出。
- **マクロ環境：自動車、冷凍車共に需要増**
- **国内外で積極的に開発・設備投資**
- **2019年3月期設備投資額（予想）：440億円**
 - ・同業他社、丸順（3422）と資本業務提携生産、技術、購買など各分野で相乗効果へ
 - ・生産能力を増強
 - 九州（国内）：新工場稼働（2019年1月～）
 - アメリカ・メキシコ：追加設備投資（2018年2月～）
 - インド：新工場建設（2020年3月稼働開始）

中期経営計画・株主還元

- **第14次中期経営計画（ビジョン）（2017年4月～2020年3月）**
 - ・「お客様に必要な提案を出し続け成長の基盤にしよう」
 - ・2020年3月期（中計最終年度）業績目標
 - 売上高2,000億円、営業利益240億円
 - ROE：11.0%以上、ROA6.5%以上
- **財務の健全性と資本効率性の両立**
 - ・自己資本比率64.3%（2018年3月期）
 - ・ROE13.1%（同上）
- **株主還元（2019年3月期予想 60円 +2円）**
 - ・方針：安定的かつ継続的な配当
 - ・株主優待：年1回、クオカードを提供